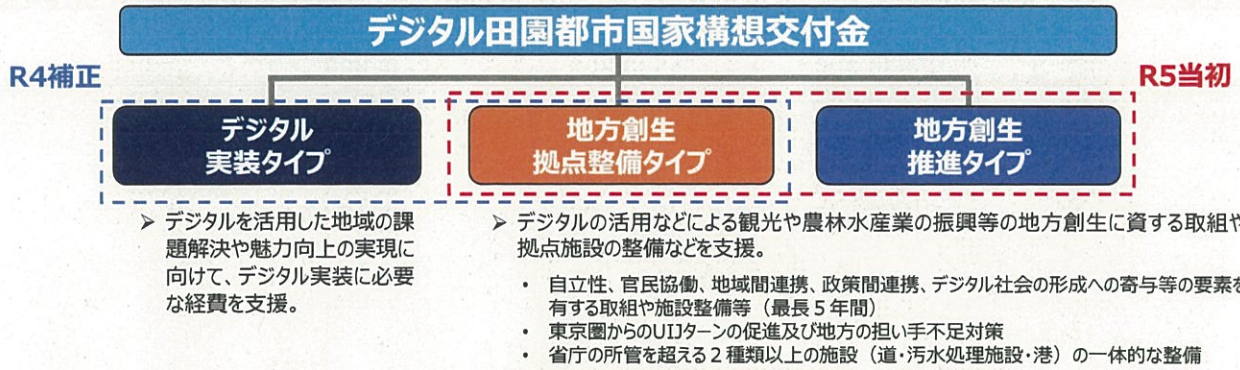


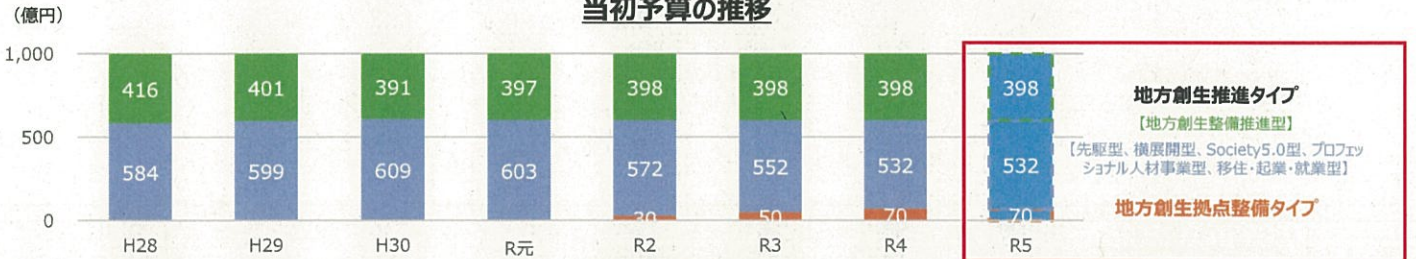
デジタル田園都市国家構想交付金 (地方創生タイプ) の効果検証について

- ・ デジタル田園都市国家構想交付金の創設 (P 1 - 2)
- ・ 地方創生交付金の経過について (P 3)
- ・ 令和4年度デジタル田園都市国家構想交付金事業一覧 (P 4)
- ・ 各種事業の実績報告 (P 5 - 9)

R5当初予算案：1,000億円、R4補正：800億円（R4当初：1,000億円／R3補正：660億円）



当初予算の推移



補正予算の推移



デジタル実装タイプ（TYPE1/2/3等）の概要

- 従来のデジタル田園都市国家構想推進交付金の基本的な制度設計は継続し、デジタルを活用した地域の課題解決や魅力向上に向けた事業を行う地方公共団体に対し、その事業の立ち上げに必要な経費を支援。
- マイナンバーカードの普及促進など政府の重要施策を推進する観点から、新たなメニューや優遇措置を講じる。
- KPI（デジタル実装1000団体等）の達成に向けて、潜在的なターゲットを掘り起こすポトムアップ支援等を講じる。

<TYPE別の内容>	対象	上限額補助率	カード交付率	カード利活用
マイナンバーカード利用横展開事例創出型 ※令和4年度補正予算限りの時限措置	当該団体内におけるカードの新規用途開拓かつ他の地域における横展開が容易な取組	国費：3億円 補助率：10/10	現状申請率7割以上を申請要件	当該団体内におけるカードの新規用途開拓が必須要件
マイナンバーカード高度利用型【TYPE3】	カードの新規用途開拓かつ総合評価が優れている取組	国費：6億円 補助率：2/3	現状交付率全国平均以上を申請要件	カードの新規用途開拓が必須要件
データ連携基盤活用型【TYPE2】	データ連携基盤を活用した、複数のサービス実装を伴う取組	国費：2億円 補助率：1/2	現状交付率全国平均以上を申請要件	カードの利活用を含む場合は加算
優良モデル導入支援型【TYPE1】	優良モデル・サービスを活用した実装の取組	国費：1億円 補助率：1/2	採択にあたり交付率を勘案	カードの利活用を含む場合は加算
デジタル実装計画策定支援事業	デジタル実装に取り組もうとする地域の計画づくりを支援	委託事業 予算額：3億円	※交付率全国平均を目指すことを提示	

<対象事業（一例）>

【TYPE3】
マイナンバーカードで各種市民サービスを利用（図書館利用や遊覧所の受付等）

【TYPE2】
複数分野データ連携の促進による共助型スマートシティ（会津若松市）

【TYPE1】
書かない窓口、地域アプリ、医療MaaS、Fロ-ン配送、遠隔医療

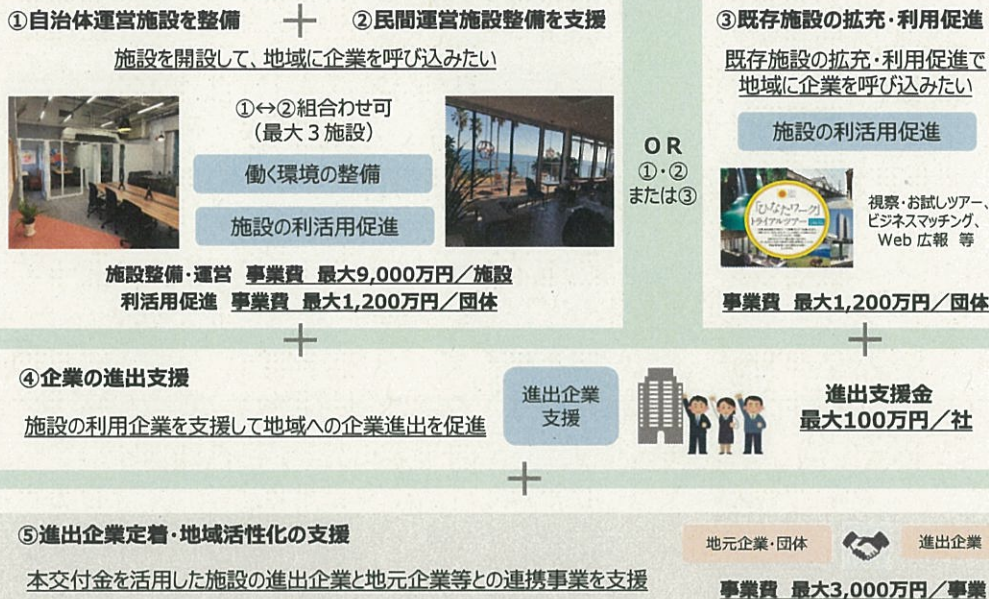
「転職なき移住」を実現し、地方への新たなひとの流れを創出するため、サテライトオフィスの整備・利用促進等に取り組む地方公共団体を支援します

交付金の特徴

補助率 3/4 (高水準タイプ)
補助率 1/2 (標準タイプ)

- 自治体施設整備に加え、民間施設整備・進出企業の支援が可能。
- ハード/ソフト経費の一体的な執行
- サテライトオフィスの整備支援等だけでなく、「進出企業定着・地域活性化支援事業」も措置

施設整備・利用促進事業



[金額は総事業費ベース、国費は3/4又は1/2]

地方創生推進タイプ/地方創生拠点整備タイプの概要

(先駆型・横展開型・Society5.0型)

- デジタルの活用などによる観光や農林水産業の振興等の地方創生に資する取組や拠点施設の整備などを支援。
 - 地方創生推進タイプ (先駆型・横展開型・Society5.0型) ⇒ 主にソフト事業を支援。【R5当初：532億円】
 - 地方創生拠点整備タイプ ⇒ 主にハード事業を支援。【R4補正：400億円、R5当初：70億円】
- <対象事業例> 観光振興、移住促進、ローカルイノベーション、地方創生人材の確保・育成、ワークライフバランスの実現、商店街活性化 等
- 地方創生拠点整備タイプについて、官民一体となって地域の課題解決に取り組むことができるよう、支援を拡充。

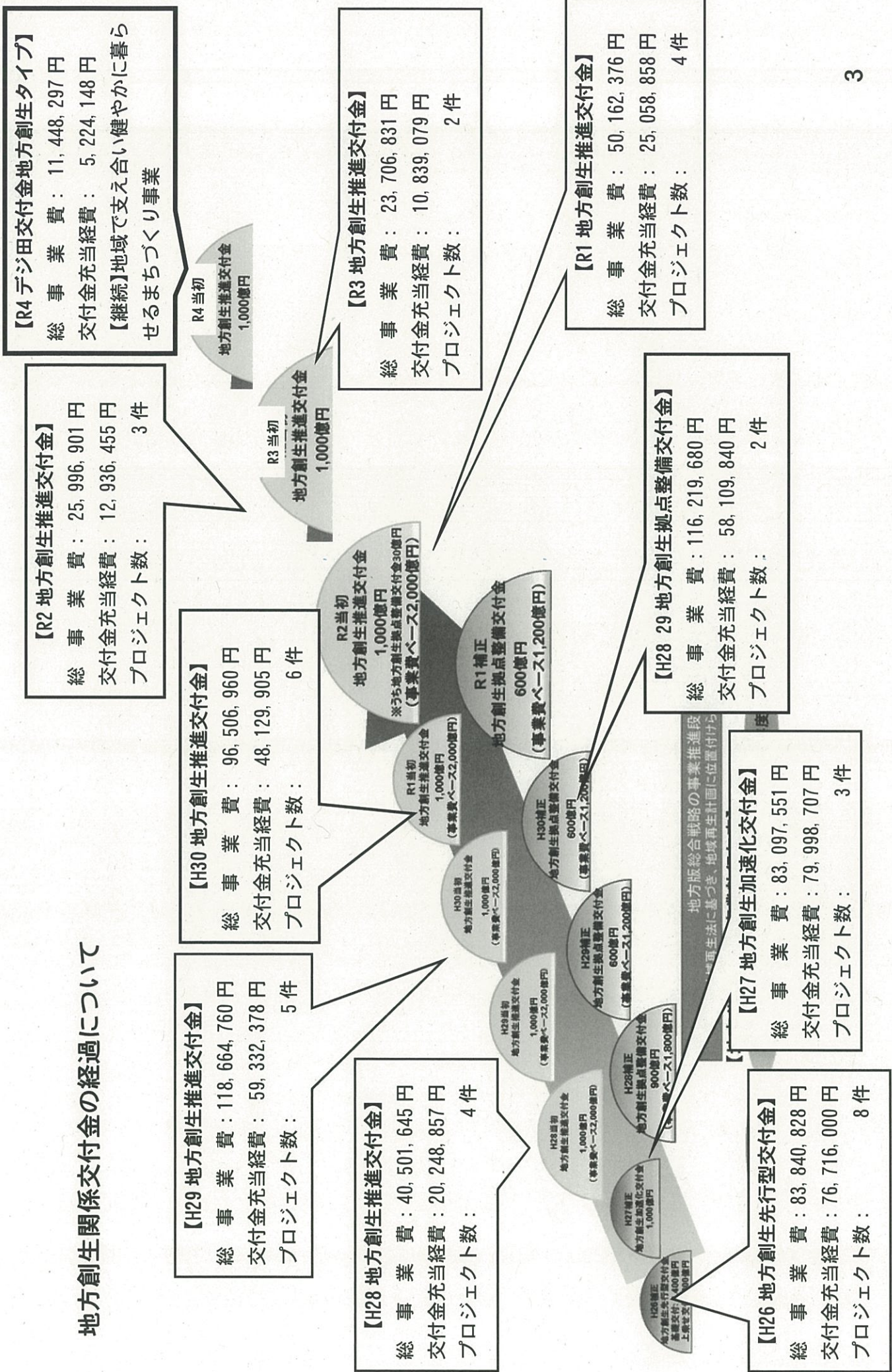
事業期間	上限額補助率	カード交付率	カード利活用	その他
推進タイプ【先駆型】	5年間 国費：都道府県3.0億円 中核中核都市2.5億円 市区町村2.0億円 補助率：1/2	デジタルを主内容とするもの (注1)は、採択にあたりカードの交付率を勘案	カードの利活用を含む場合は加算	<対象> 目指す将来像及び課題の設定等、KPI設定の適切性に加え、自立性、官民協働、地域間連携、政策間連携、デジタル社会の形成への寄与等の要素を有する事業。 【推進タイプの事業類型】 ・先駆型：先駆性の高い最長5年間の事業 ・横展開型：先駆的・優良事例の横展開を図る最長3年間の事業 ・Society5.0型：地方創生の観点から取り組む、未来技術を活用した新たな社会システムづくりの全国的なモデルとなる最長5年間の事業
推進タイプ【横展開型】	3年間 国費：都道府県1.0億円 中核中核都市0.85億円 市区町村0.7億円 補助率：1/2	現状交付率全国平均以上を申請要件		
推進タイプ【Society5.0型】	5年間 国費：3.0億円 補助率：1/2	デジタルを主内容とするもの(注1)は、採択にあたりカードの交付率を勘案		
拠点整備タイプ	当初予算：原則3年間 補正予算：単年度 国費：都道府県15億円 中核中核都市10億円 市区町村5億円 補助率：1/2			<拠点整備タイプにおける拡充> 民間事業者等が一定の要件を満たす公共性・公益性を有する拠点施設等を整備する取組に対し、地方公共団体が整備費の全部又は一部を補助した場合に、国が当該補助経費の1/2を交付することを可能とする。 【支援スキーム】 ・民間事業者：施設等整備費用 ・地方公共団体：全部又は一部を補助 ・国：1/2を補助

(注1) デジタル実装のための計画策定、開発・実証等を主内容とする事業

(注2) 申請上限件数は以下の通り

・推進タイプ 都道府県：6事業、中核中核都市：5事業、市区町村：4事業 ※Society5.0型は申請件数の枠外
・拠点整備タイプ 当初：2023～27年度(デジ田総合戦略の期間)を通じて1事業、補正：上限なし

地方創生関係交付金の経過について



令和4年度デジタル田園都市国家構想交付金 一覧

1 地方創生タイプ

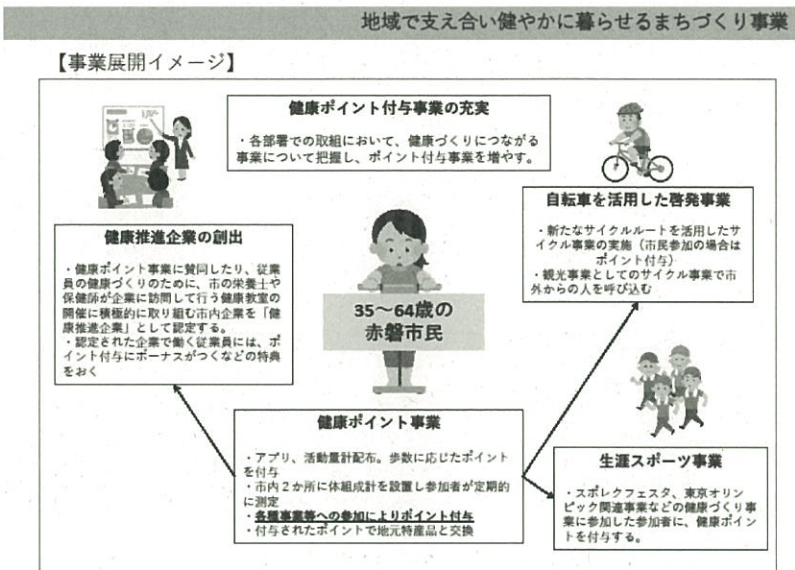
2021年度～2023年度(2年目)

交付対象事業の名称	事業概要	総事業費 (うち国からの 交付金額)	重要業績評価指標 (KPI)		自己評価	
			指標内容	目標値		実績値
地域で支え合い健やかに暮らせるまちづくり事業	<p>青年期・円熟期をターゲットとして、健康づくりに取り組みやすいようなコンテンツを用いて、市内事業者や他部署と連携した取組を実施する。</p> <p>①健康ポイント事業 市民の健康に対する関心を高め、健康的な生活習慣を実践する行動変容のきっかけとなるよう地域特性を踏まえたあかいわらしい健康増進インセンティブとなる健康ポイントの仕組みを構築する。</p> <p>②健康推進企業の創出 官民連携した健康づくりを推進するため、健康ポイント事業に賛同したり、市の栄養士や保健師による健康教室の開催などを積極的に取り組む企業を「健康推進企業」として認定し、仕事場でも運動や適正な食事などへの意識づけを深めて、習慣化につなげていく。</p> <p>③健康づくり環境整備啓発事業 新たに造成した3つのサイクルルートを活用して、ルート周辺にある観光施設や飲食店を巡るサイクルスタンプラリーや健康意識の向上に向けた自転車乗リ方教室を開催し、市民の健康づくりに取り組む。</p>	10,448,297 (5,224,148)	特定健診実施率	29.5	29.1	<p>地方創生に効果があった</p> <p>本市は昼夜間人口比率が県内市の中でも最も低く、昼間は働きに他自治体へ出ている人が多いことから、本取組で訴求をしたいと考えている35～64歳に向けた取り組みを連携しながら実施した。市内企業へ出向いたり、産業支援センター相談員に依頼したりして、あかいわ健康ポイント事業参加者や出前講座を開催する企業を募り、官民連携した取り組みが実施できた。健康づくりの行事だけでは、集客が難しい面があるが、「働く場所」で取り組みを行うことで、企業にとっても従業員の健康づくりに寄与でき、市としても広く周知する機会を持つことができた。サイクル事業に関しては、コロナ禍の中でサイクリングを始め人も多いため、サイクリングによる健康づくりを推進してきた。テレビ媒体やSNS・YouTubeなど多彩な方法でPRを行い、市内外から多くの参加があった。</p> <p>引き続き事業を継続していきながら、令和5年度が最終年度となるため、交付金の期間終了後も、35～64歳に向けて自身の健康への関心を高め、健康づくりへの行動変容を促していくための取組などは継続していくため、どのようなことを進めていくのが良いかを庁内で横断していく。</p>
			30分以上の運動を週2回以上1年以上実施している人の割合	49.9	48.8	
	健康推進企業		13	3		

令和4年度デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生タイプ）に係る事業実施報告書

1. 担当部局課名：保健福祉部健康増進課 産業振興部商工観光課 教育委員会社会教育課
2. 事業実施年月：令和4年4月から令和5年3月まで（2年目／3年）
3. 交付対象事業の名称：地域で支え合い健やかに暮らせるまちづくり事業
4. 事業の概要、目的

青年期・円熟期をターゲットとして、健康づくりに取り組みやすいようなコンテンツを用いて、市内事業者や他部署と連携した取組を実施する。



5. 令和4年度実施内容

①健康ポイント事業（健康増進課・商工観光課・社会教育課）

市民の健康に対する関心を高め、健康的な生活習慣を実践する行動変容のきっかけとなるよう健康増進インセンティブとなる健康ポイントの仕組みを令和3年度から実施。35～64歳までの市民を対象としてアプリや活動量計を配布し、歩数等に応じたポイントを付与する仕組み。令和4年度は対象を100名から200名に拡大し、広く周知している。また、体組成計の設置を新たに3か所追加し、計6か所で定期的に測定できるようにした。ポイントが付与される対象となる健康に関する教室の回数や種類を広げた。

②サイクル事業（商工観光課・健康増進課）

コロナ禍における新たな観光誘客手段として、令和2年度に制定した「あかいわサイクリングルート」を活用し、観光振興及び参加者の心身の健康保持を目的として、「赤磐市サイクリングルートPR及びサイクルスタンプラリーイベント実施業務」を実施した。サイクリングルートの魅力をインフルエンサー1名とRSKアナウンサーを中心にテレビ媒体、SNS、YouTubeで発信した。（テレビ放送4回実施、PRCM放映回数100回以上）また、令和4年度も感染拡大防止を行いながら参加できるデジタルスタンプラリー「あかいわサイクルスタンプラリー」を並行して実施。市内15カ所をチェックポイントに設定し、市内の観光地及び事業者を参加者が巡るもので、令和4年10月1日から令和4年12月31日まで実施し、アプリ登録者600名（R3年度623名）、プレゼント応募者数は203名（R3年度295名）となった。

③出前講座（健康増進課・商工観光課）

市内事業所を訪問し出前講座のPRを行い、事業所の抱える従業員の健康課題についての把握を行った。そして2事業所で事業所の健康課題に沿った出前講座を実施することができた。

6. 本事業における重要業績評価指標 (KPI)

指標		指標値 (増加率)	単位	目標年月
指標①	特定健診実施率 (令和3年度 29.7%)	0.5	%	R5.3
指標②	30分以上の運動を週2回以上1年以上実施している人の割合 (運動習慣) (令和3年度 50.8%)	0.9	%	R5.3
指標③	健康推進企業 (2社)	8	社	R5.3

7. 本事業終了後における実績値

指標		指標値 (増加率)	単位	目標年月
指標①	特定健診実施率	▲0.6 (29.1)	%	R5.3
指標②	30分以上の運動を週2回以上1年以上実施している人の割合 (運動習慣)	▲2 (48.8)	%	R5.3
指標③	健康推進企業	1 (3)	社	R5.3

8. KPIの推移 (上段が計画の指標値、下段が実績)

	事業開始前	令和3年度	令和4年度	令和5年度
指標①	28.5	0.50 (29.0) 1.2 (29.7)	0.50 (29.5) ▲0.6 (29.1)	0.50 (30.0)
指標②	48.1	0.9 (49.0) 2.7 (50.8)	0.90 (49.9) ▲2.0 (48.8)	1.00 (51.0)
指標③	0	5 (5) 2 (2)	8 (13) 1 (3)	7 (19)

9. 自己評価及び事業効果

自己評価		事業効果内容
S	地方創生に非常に効果的であった	<p>①本市の特徴からとらえた事業成果</p> <p>本市は昼夜間人口比率が県内市の中でも最も低く、昼間は働きに他自治体へ出ている人が多くいることから、本取組で訴求をしたいと考えている 35～64 歳に向けた取り組みを横連携しながら実施した。</p> <p>市内企業へ出向いたり、産業支援センター相談員に依頼したりして、あかいわ健幸ポイント事業参加者や出前講座を開催する企業を募り、官民連携した取り組みが実施できた。健康づくりの行事だけでは、集客が難しい面があるが、「働く場所」で取り組みを行うことで、企業にとっても従業員の健康づくりに寄与でき、市としても広く周知する機会を持つことができた。サイクル事業に関しては、コロナ禍の中でサイクリングを始める人も多いことから、サイクリングによる健康づくりを推進してきた。テレビ媒体や SNS・YouTube など多彩な方法で PR を行い、市内外から多くの参加があった。</p> <p>②課題</p> <p>指標①②について、どちらも国民健康保険被保険者の結果のみの数値だが、あかいわ健幸ポイント事業参加者にはその他の保険者の人も多数いることが理由の一つと考える。また、事業実施期間が長く、長期間、意欲を維持するため、定期的にアプリで健康教室を実施するなどしているが、モチベーションを保つ難しさを感じている。</p>
A	地方創生に相当程度効果があった	
ⓑ	地方創生に効果があった	
C	地方創生に効果がなかった	

10. 意見及び今後の方針

青年期・円熟期をターゲットとして、取り組みやすいようなコンテンツを用いて、市内事業者や他部署と連携した健康づくり事業に引き続き取り組む。参加者の口コミや市が主催する運動教室で継続した運動の必要性を伝えること等で健康づくりの輪を広げる。

特定健診受診率の向上に向けて、過去 5 年間に健診を受診していない人を訪問し、受診を勧奨する。赤磐市の観光振興と、参加者の健康増進を更に図れるように、マンネリ化することなく参加者の健康づくりに役立つ事業を実施していく。あかいわ健幸ポイント事業参加者を対象とした「おためしサイクリングイベント（初心者向け）」の実施や、自転車（サイクリングルート）を活用した健康づくりについて、テレビ番組内での PR 等を行うことを予定している。

さらに令和 5 年度が最終年度となるため、次年度以降も 35～64 歳に向けて自身の健康への関心を高め、健康づくりへの行動変容を促していくための取組などは継続していくため、どのようなことを進めていくのが良いかを庁内で検討していく。

【食のわ あかいわ 健幸レシピ】

食のわ あかいわ 健幸レシピ

「まいにちベジ」

① 野菜をたっぷり使う
② 肉類は鶏肉や魚類がおすすめ
③ 揚げ物は油を少なめにし、揚げ油はこまめに交換する
④ 揚げ物は揚げたてを食べる
⑤ 揚げ物は冷ましてから食べる

チンゲンサイの豚肉ロール

●材料 (2人分)
チンゲンサイ…葉大10枚 (1~2株)
豚ロースしゃぶしゃぶ用…10枚 (100g)
塩…少々
だし汁…150ml、しょうゆ…小さじ2
A かりん…小さじ2、料理酒…大さじ1
B 片栗粉…小さじ1/2
C 水…小さじ1
バター…5g、かつお節…適量
鏡りからし…少々 (お好みで)

●作り方
①チンゲンサイは根元から1枚ずつはがして耐熱容器に入れ、ラップをかけて600wのレンジで3分加熱する。
②①を広げ、豚肉のをせて塩をふり、右の方から巻いていく。
③フライパンにAを入れて一度煎立させたら②の巻き終わりを下にして煎立たせたら、BとCを混ぜたものをフライパンにかけ、かつお節をふる。お好みで鏡りからしを加える。

●問い合わせ先 本庁健康増進課 ☎955-1117

食のわ あかいわ 健幸レシピ

「まいにちベジ」

① 野菜をたっぷり使う
② 肉類は鶏肉や魚類がおすすめ
③ 揚げ物は油を少なめにし、揚げ油はこまめに交換する
④ 揚げ物は揚げたてを食べる
⑤ 揚げ物は冷ましてから食べる

ごぼうと黒豆のかりかり甘辛あえ

●材料 (2人分)
ごぼう…100g (2/3本) 黒豆 (乾燥)…20g
片栗粉…大さじ2 (20g) サラダ油…適量
※【砂糖】…小さじ1、しょうゆ・かりん…各小さじ2
酢…小さじ1/2 白りごま…小さじ2
一徳唐辛子 (お好みで)…少々
すだち (お好みで絞る)…1/2個分

●作り方
①黒豆を洗い、1カップの水に半日以上浸けて煮しておく。
②ごぼうは皮を落とす。たわしなどで洗って、流水でこすり洗いをし皮を取る。1cmの輪切りにして、10分水下ごらす (黒豆は風味がよいので長時間水に漬けない)。
③※を耐熱容器に入れ、ラップをかけた600wのレンジで20秒加熱し、黒豆が取れたら酢を加える。
④②と③の水気をスーパータオルでしっかりふき取ってからポリ袋に入れ、片栗粉を加えてまんべんなくまぶす。
⑤フライパンに熱油から2~2cmの差を入れて中火にかける。余分な油を落とすごぼうと黒豆を加え、時々ハラハラながら、両面かりかりと揚げ焼きにし、油をしっかりと切ってからポリ袋に入れる。
⑥⑥が熱いうちに⑦と⑧のごまを加えてよく混ぜ合わせる。
※お好みで一徳唐辛子、すだちを加え、大人向けに唐辛子、唐辛子、お好みで、お好みで加えてください。
【たくさん作ってレンジにしておく】
※はんに混ぜておにぎりの具に!
※サラダ油やごま油のトッピングにするのもおすすめです。
次回は2月号に掲載予定です。

●問い合わせ先 健康増進課 ☎955-1117

広報あかいわや赤磐市公式YouTubeチャンネルでもレシピ掲載

【サイクル事業】

チラシ・ポスター



A4チラシ両面カラー 5000部



A3ポスター 100部



あかいわ健幸ポイント2022事業とのコラボ

「あかいわ健幸ポイント」参加者限定の必ず当たるキャンペーンを実施。

赤磐市を通して参加者全員にチラシを配布し、サイクルスタンプラリーへの参加を呼びかけました。

該当応募者は9件。昨年比+7件となりました。

「あかいわ健幸ポイント」参加者限定の必ず当たるキャンペーンを実施。

赤磐市を通して参加者全員にチラシを配布し、サイクルスタンプラリーへの参加を呼びかけました。

該当応募者は9件。昨年比+7件となりました。